

平成26年7月1日

新潟市長 篠田 昭 様

新潟市議会議長 志田 常佳

### 第5回議会報告会（平成26年度第1回）における市民意見等について

市議会では、第5回目となる議会報告会を5月に開催し、参加された市民の皆さまから、議会に関するもののほか、市政に関するものなど様々なお意見、ご要望等をいただきました。これらは、市民からいただいた貴重なご意見等であることを踏まえ、市議会として検討を行った結果、下記のとおり集約しましたので、今後の市政運営においては下記事項に留意のうえ取り組んでいただきますようお願いいたします。

なお、市民のご意見等のうち執行部に関係すると思われるものを、参考までに添付します。

### 記

#### 1. 公共交通システムについて

BRT 構想については、連節バスの導入を核として、郊外路線の維持再編を行うとしているが、議会報告会ではその効果や課題等について、いまだに多くの意見が寄せられている。とりわけ周辺地域における不安の声が根強いことから、新潟交通との運行事業協定の内容や BRT 導入後の郊外路線の維持拡充の見通しなどについて、説明会を開催するほか、周知方法についても市民により伝わる方法を検討するよう求める。

また、BRT 構想と併せて、区バス、住民バスに関して、バス路線の再編に伴う乗り継ぎなど、今後の取り組みについても明確な説明を行うよう要望する。

#### 2. 子育て支援の充実について

少子化に伴う人口減少が急速に進む中、子どもを産み、育てやすい環境の整備が喫緊の課題である。出生率の向上に向けた解決策を模索する中ではあるが、働きながら子育てしやすい環境の整備や男性の育児休業取得推進に向けたさらなる取り組みの強化を要望する。

#### 3. 地域自治組織等について

各区の権限の強化や地域の声を市政に反映させるため各区において自治協議会が組織されているが、合併から10年近くが経過し、組織が形骸化しているのではないかと危惧する声が聞かれた。一方コミュニティ協議会は住民の相互支援における受け皿としての役割を期待されている。

地域にはこうした多様な組織が存在することから、それぞれの役割を明確にし、地域の担い手として確立することを求めるとともに、併せて、地域活動補助金をはじめとした各組織への補助金等についても、そのあり方、交付方法なども含めてより利用しやすいものとなるよう検討されることを望む。

## 第5回（平成26年度 第1回）議会報告会での主な発言等

平成26年5月10日(土)19:00～  
秋葉区, 南区, 西区, 西蒲区  
平成26年5月11日(日)10:00～  
北区, 東区, 中央区, 江南区

## 1. BRT・連節バスについて

- BRTについて、議会で議決された後、説明会がない。(北区)
- 連節バスの購入をやめて、普通バスの運行でやってもらいたい。そうすれば借金を増やさなくてすむ。借金を次世代に残さないような市政を行ってもらいたい。(北区)
- BRTについて反対。導入は市民の意見を反映していないのではないかと。乗り換えは高齢者には不便である。多くの市民の意見を聞いて反映させてもらいたい。(東区)
- BRTは、どの程度効果があるのか疑問。市民の中では反対が多いのに議会では関連予算を可決した。導入の理由を榎谷小路の混雑の解消としているが、混雑は解消しないのではないのか。駅からイベント会場などに高速輸送するのが本来のBRTではないのか。(江南区)
- 全てのバスが古町に行くから混雑する。郊外への便を考えて駅に集まるようにすればいい。やめるべきだ。(江南区)
- 公設民営ということだが赤字になった時、誰が負担するのか。(江南区)
- 全体の中の半分が国費だ。現在の計画は停留所が15カ所もあり、高速性は疑問。(江南区)
- 越後交通や頸城鉄道が同じようなことを考えず新潟交通だけがなぜやろうとしているのか。新潟交通の経営状況など数字をよく見て実態をよく知ってほしい。(江南区)
- 新潟交通の財務諸表など経営状況をよく把握して勉強してほしい。子孫に住みやすい社会を引き渡すことが仕事なのに、BRTは子孫に負債を残す。(江南区)
- かつては皆、古町に行っていたが、今は郊外にジャスコやイオンがあり、そこへ行けば十分。そこで乗り換えれば客は停滞する。(江南区)
- 投票で多数決を取ってほしい。BRTではなく、子どもや人口増の施策にもっと金を使ってほしい。(江南区)
- 連節バス導入で余剰となったバスは秋葉区に何台まわってくるのか。(秋葉区)
- BRT導入で乗客は増えない。(秋葉区)
- 公共交通の取り組みについて、合併市町村へのBRT導入効果の説明をするべきである。(秋葉区)
- BRT導入とあわせて、地域公共交通も拡充されるとしているが、いつまでに、どこが、どのように拡充されるのか、市民には明示されていない。具体的な拡充策・工程表を明らかにしてもらいたい。(秋葉区)
- BRTについて、約9億円の予算が組まれているが、どういう内容に使われるのか。(西区)
- 連節バスはいらない。(西区)
- 連節バス導入にあたり、市は乗客の乗り残しをその理由としてあげていたが、事実ではないことが判明した。市の財政面から見ても導入をやめるべきだと考える。(西蒲区)

## 2. 農業特区について

- 新潟市は農業特区に指定されたが、これからだとは思いますが、「これからこうなる」ということについて教えてほしい。(東区)

## 3. 新潟を拓く10大プロジェクトについて

- 前年度に比べて予算が約360億円、5.3%の増であるが、これに見合う収入があるのか。(東区)
- 10大プロジェクトにある航空機産業の本格育成は約9億円の助成だが、少ないのではないか。もっと10年～20年先を見据えた応援が必要ではないか。市の力量が問われている。育てて税収を上げるようにしてもらいたい。(東区)
- 航空機産業の本格育成に関して、雇用・税収などの内容を開示するとともに、今後の具体的な工程表や成果などを示してほしい。(東区)
- 大手企業を誘致する話があるが、わずか24名のベンチャー企業がモンゴルの野菜工場をITを使って、日本国内から全てコントロールしている。これらから新潟市も税収アップにつながる企業をバックアップしてはどうか。(東区)

## 4. 子育て支援関連

- 若い人たちが働きやすい環境を作るために、男性職員の育児休業取得の推進を今以上にやってはどうか。(北区)
- ゼロ歳児相手の保母に応募する人が少ない。有資格者の掘り起しを行い保育園や幼稚園に採用してもらえるように本格的に取り組んでももらいたい。(北区)
- 定員未満の保育施設に、何か助成をしてはどうか。(北区)
- 日本一子育てにやさしい都市をうたいながら対策としてその内容は変わっていないようである。人口減少を迎えた中で子どもたちを増やす根本的な対策はあるのか。(秋葉区)
- 3子以上ではなく、2子以上子どもを産んでも1人分の保育料で済むようにしないと、20年後、30年後には日本の人口が減る。国力がその分削がれる。その点を考えてほしい。(南区)
- 来年度から、ひまわりクラブは6年生までの受け入れになるが、受け入れ体制・場所・見守り体制はどう考えているのか。(西区)

## 5. 自治会関係について

- 自治会長をやっているが、さまざまな助成金等の手続きがたいへん煩雑である。自治会に一括で、交付金という形でもらえるようにしてほしい。残ったお金は返還する方法にしてほしい。(東区)
- 地域活動補助金についてだが、自治会で新しい防災事業を計画したが、4月21日段階で、補助金がほとんど残っていない状況である。この地域活動補助金の配分のあり方、区によって人口なども違うので、もう少し妙案はないのか。(南区)
- 各区に自治協議会があるが、ただ市長に言われたことを追認するだけの自治協であり、実際形骸化している。もう少し議会で、自治協のあり方、ただ行政任せではなく、本当にこれでいいのかということも含めて、精査してもらいたい。(南区)
- 街灯への補助など、地域で制度がまちまちだ。(江南区)

## 6. 福祉関連について

- 市民病院の充実とあるが、外来患者を地元の医院に回していると聞いた。市民病院からそういった報告があったのか。(北区)
- 介護保険料は改定のたびに値上げされる。年金生活者には限界がある。次期改定時には段階別を所得別にすることを検討してもらいたい。(中央区)
- 秋葉区の老健施設が警察の家宅捜索を受けた。1カ月ほど前にはショートステイの施設が倒産した。職員の方が助けてくれと泣いており、利用者は行くところがない。市は強く正してほしい。(江南区)
- 介護や福祉については問題が根深い。福祉に金を使えばいいが金はない。介護施設に家族が来ない。老人より若い人を助ける方向に転換すべきだ。病気になって医療費がかさむより、運動や予防も大切だ。(江南区)
- ろうの立場で、コミュニケーション事業の範囲拡大が必要であることを要望したい。例えば、町内の飲み会や研修旅行など、通訳をお願いしたいと言っても派遣が認められないが、それが必要であることを理解してもらいたい。あわせて「手話言語法」制定に向けての動きが広がっているので、よろしくをお願いしたい。(南区)
- 障がいのある子どもたちが、週に1回、各企業にいて1時間だけ仕事体験を行う「ぶれジョブ」のボランティアサポーターをやっているが、支援の輪がなかなか広がらない。できれば各区の健康福祉課障がい福祉係が窓口になって、この事業の推進を図れないか。(南区)

## 7. 公共交通全般について

- 住民バスに対する収支率については、地域の実態を考慮し30%にはこだわらず支援してほしい。(秋葉区)
- 住民バスについては地域包括センターブロックでの住民バスを走らせることが理想である。10年前に「地域を支えるバス交通のあり方」を発行し住民バスを走らせるためにこのような形がよいと示されていたのに、具体的進展がない。収支率の見直しと補助率の拡大を望む。自治協議会の会長会議でも収支率の見直しについて挙げられており、秋葉区でも住民バスの補助率の引き上げについて提言書が出ているのに改善されていない。(秋葉区)
- 南区の公共交通の状況は厳しい現状にある。これを何とかできないか。(南区)
- 越後線の小針・寺尾駅の朝晩の渋滞解消のために、高架について考えてもらいたい。(西区)

## 8. 学校関連について

- 下町4小学校統合に反対。反対署名や地域の合意もない。(中央区)
- 学校給食の委託について、教育的観点からの栄養管理や調理指導などがこれまで通り行われるのか。また委託されることによって雇用される人たちの賃金が抑えられてしまうのではないか。(秋葉区)
- 教育委員を6人から9人に増やして具体的に何をやるのか。コミ協などとの関わりはどうか。(西区)

## 9. 住宅リフォーム関係

- 住宅リフォーム助成金は1世帯1回しか使えない。もうちょっと使い勝手の良い永続的なものにならないか。(南区)
- プチリフォーム補強を新潟市として取り入れてもらいたい。前回は聞いたがあれから半年経っている。その後の見解は。(南区)

## 10. 新潟駅周辺整備事業関連について

- 新潟駅と空港を結ぶ新幹線の話は今聞かないがどうなっているのか。(東区)
- 駅高架工事が6年延長するが、予算が明らかにされていない。(中央区)
- 新潟駅の高架が6年遅れるとのことだが、東京オリンピックに間に合わない。どう考えているのか。(西区)

## 11. 市債関係等について

- 債権管理課はよくやっているというが、そのお金を払うことで明日からの生活ができなくなるような人もいる。(西区)

## 12. ごみ関係について

- ごみ袋が高すぎる。(中央区)
- ごみ袋がすぐ破れる。特に30リットル以上のもの。丈夫なものにしてほしい。(江南区)

## 13. その他平成26年度当初予算関連について

- 潟の研究を良く取り上げてくれたと思うが、潟の魅力を多くの人に知らせる機会が前段にあってもいいのではないか。(北区)

## 14. その他

- 側溝清掃はふたが重くて高齢者には無理。計画的に行政で出来ないか。(中央区)
- 下水道の一部負担金は、高すぎる。(中央区)